

第1回改定検討委員会資料(現状)

1 現状

現行公園マスタープラン

計画の概要

墨田区公園マスタープラン(以下「公園マスプラ」という。)は、都市公園等の新規整備、改修、公園管理運営等について具体的に示し、効率的に事業を進め、快適な生活を実現することを目的として、平成7年に平成37年までの30年計画として策定した公園計画である。

なお、平成22年11月に目標年次の間中期であったこと、社会情勢の動向を踏まえ、具体的かつ実効性のある計画に更新が必要であったことから、中間改定している。

計画対象：都市公園(公園・児童遊園) 区民広場など(参考資料 参照)

基本理念(P,50)

すみだの表情をつくる(人々のあたたかみと水と緑を感じる公園)

基本方針(P,53~54)

- 積極的に面積を拡大する
- 質を向上する
- 区民とともに公園を育てる

戦略プラン10(P,55~75)(参考資料 参照)

- プラン：都市生活に水と緑の潤いを与えるまちの骨格となる新しい公園をつくります
- プラン：すみだを代表する風景のある公園をつくります
- プラン：気軽に行ける身近な公園を新しくつくります
- プラン：災害からまちを守る公園を新しくつくります
- プラン：誰でも快適に使える公園をつくります
- プラン：子どもを健やかに育てる公園をつくります
- プラン：訪れた人の心と体が健康になる公園をつくります
- プラン：歴史や文化を伝える公園をつくります
- プラン：地域コミュニティを育てる公園をつくります
- プラン：区民や事業者のアイデアを具現化できる公園をつくります

戦略プラン10にはプラン毎に細目あり。

エリアプラン(P,79~96)

エリア区分を設定し、エリア毎に戦略プラン10を具体化したもの

重点事業(P,97~108)

エリアプランの計画の内、重点的に実施するためのもの

パークマネジメントプラン(P,109~118)

戦略プラン、を踏まえて、管理運営を行い、結果を評価の上、価値を高めていく仕組みのプラン

公園等の整備目標値(P,76)

平成22年中間改定時に掲げた2025年までの公園等整備目標面積
113.7ha

平成22年中間改定以降に必要な新規整備面積

42.8ha(113.7ha - 平成22年中間改定までの整備済み面積70.9ha)

平成22年中間改定以降の新規整備実績(参考資料 参照)

7.3ha(令和4年現在の公園等整備済み面積:78.2ha(70.9ha+7.3ha))

中間改定時に掲げた公園等の整備目標値は、
達成できていない。

上位・関連計画(参考資料 参照)

公園マスプラは、墨田区基本計画及び墨田区都市計画マスタープランを上位に位置付けるとともに、第二次墨田区緑の基本計画と密接に関連している。

【各計画とその計画期間】

- 墨田区基本計画(後期)：令和4~7年度
- 墨田区都市計画マスタープラン：平成31年~令和22年
- 第二次墨田区緑の基本計画：令和4~22年度

前倒し改定の理由

令和4年3月に「墨田区緑の基本計画」が「第二次墨田区緑の基本計画」に改定されたこと、社会情勢やニーズが多様化していること等から、令和5年に前倒して改定するよう進めている。

平成22年中間改定以降の変化

(1) 社会情勢の変化

- 新型コロナウイルス感染症の発生とそれに伴う生活様式の変化
- 持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた関心の高まり
- 平成29年都市公園法改正による公募設置管理制度(Park-PFI)の創設等(参考資料 参照)
- 令和4年10月に国交省が「都市公園新時代(～公園が活きる、人がつながる、まちが変わる～)」に関する提言を公表(参考資料 参照)など

(2) 区人口の変化

区の人口は、平成22年中間改定時は約24万、令和5年1月には28万人を突破、第二期墨田区総合戦略人口ビジョンによると、令和12年(2030年)に約28.9万でピークを迎える見込みである。

将来人口推計を年齢3区分(年少・生産年齢・老年)で見ると、年少人口と生産年齢人口はおおむね令和12年前後まで増加し、その後減少、老年人口は令和7年以降一貫して増加が続き、令和22年には4人に1人が老年になる。

(単位：人)

年	令和3年 (2021年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和22年 (2040年)
総人口	275,975	286,063	289,561	287,224
年少人口	28,437	30,472	32,721	32,351
生産年齢人口	186,572	194,714	194,565	181,745
老年人口	60,966	60,877	62,275	73,128

数値の赤青は、左列の数値からの増減を表す(青：増加、赤：減少)

(3) 区の状況変化

- 北十間川、隅田川沿いなどで観光スポットやにぎわい空間が多く形成
- 本区初の大学が開学
- 令和2年4月：情報経営イノベーション専門職大学
- 令和3年4月：千葉大学墨田サテライトキャンパス
- 令和3年度に「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定 など

(4) 議会からの主な要望等

- アクセス不便地域の解消
(H29年第二回定例会 自民党：佐藤(篤)区議)
(H31年予算特別委員会 自民党：佐藤(篤)区議)
- 足立区パークイノベーション推進計画を参考とした公園機能のすみ分け
(R2年予算特別委員会 公明党：高橋区議)
- 都心ならではの狭隘地を利用し、工夫を凝らした特色のある公園整備
(R3年度定例会2月議会 公明党：とも区議)
- ボール遊びのできる公園、ドッグランの設置
(R3年度定例会2月議会 公明党：とも区議)
- 子育て世帯の定住支援策としての公園整備
(R3年度定例会2月議会 公明党：とも区議)
- インクルーシブ(多世代、多文化共生)公園の導入
(R3年度定例会2月議会 公明党：とも区議)
- 指定管理者等の民間活力を活用した公園管理・運営の検討
(H30年決算特別委員会 公明党：加納区議)
(R4年地域産業都市委員会 公明党：大越区議)